

01 ハノイ 36 通り

ハノイ三十六通り

フランス人にはパリが、イギリス人にはロンドンが、中国人には上海がある。書物の中で、雑誌の上で、熱烈な愛をこめて、かれらは自分たちの街を語る。フランス人が、パリやパリに暮らす人々について語るのを聞いてこそ、その敬愛の情がどれほどであるか理解できる。

私たちにも多くの美しさを持つ街ハノイがある。ハノイは最も（本では *nhát*、新聞では *thật*）美しいから（私たちはただその美しさの数々を見つけさえすればいい）、そして私たちが愛してやまないから。ハノイ人の魂を持ってハノイを愛することは、生粋のパリジャンがパリを愛するが如きである。そぞろ歩きの最中に ハノイの通りをぶらぶら歩くのは、ハノイ人だけが持てるこの上ない楽しみなのだが 私たちはハノイという街の変わりゆく姿に気を配る必要がある。街の美しさと同じく醜さも観察する必要がある。楽しいことや嘆かわしい光景に対しても、私たちのようなハノイ人に対しても、暖かいまなざしを向けるべきである。

ハノイは、他郷の人々を惹きつける力をもっている…。遠い村の細い道々で、あるいは深い山の段々畑で、午後のひと時には、雲の向こうにハノイの光が現れることを願って、その方角の空を見る多くの人がいる。ハノイにあこがれる人々のために、また、ハノイに住む人々のために、私たちはもっとハノイを愛し、ほめたたえ、ハノイ独特の姿を余すところなく語り、三十六通りの移り変わりのすべてを、あらゆる地に知らせよう。

註1 *phố phường*

phố phường を辞書で調べると、

（舗坊）1 市街 2 街路 3 区（行政）*ba mươi sáu*：三十六区

本来、*phố* と *phường* は違う意味。

phố を辞書で調べると、

（舗）1 街路 2 商店

舗という漢字を普通の漢字字典で調べると、

2（文英堂 学習漢字辞典 第2刷版 1980年）

1 店。品物をたいらにならべて売る所。例：店舗。老舗（ロホ）。

2 地面にたいらにしく。しきならべる。例：舗装。

「舎」は、家。「甫ホ」は、しきならべる意味をあらわす。「舗」で、しきならべた家、商店のこと。一方、*phường* を調べると、

（坊）1 坊（行政区）2 坊（同業者の居住区）3 坊（賤業仲間）

（文化事典）

実は、*phố* と *phường* は別のものだ。かつて *phường* は同業者の組織（*phường chèo*、チエオ：民間の

笑劇の phường、phường thợ（職人の phường）ということ以外に、別の意味がある：京城タンロンの基礎的な行政単位とみなされる、地理的な区域を指した。

坊という漢字の意味は、

1 ぼうさんの住まい。例：僧坊^{ソウ}坊^{ホウ}

2 ぼうさん。仏道^{ブツ}坊^{ホウ}に入った人。僧。また、ぼうさんの名前につけて用いる語。例：坊主^{ホウ}坊^ウ。武蔵むさし坊

3（かみの毛をのばさない頭が似ているところから）男の子を親しんでよぶことば。例：坊や

4（他のことばの下について）～の人。例：朝寝坊。

「方杓」は、四角い形を意味する。「坊」で、四角い形にくぎられた土地（町）のこと。また、音が「房^{ホウ}坊^{ホウ}」に通じるところから、部屋の意味で使われるようになった。

ひとつの phường の中に何本かの pho がある。phố phường の意味を考えると、町全体をあらわす言葉として、ハノイ三十六区という訳でも差支えないのでは。